



バケツで稲を育てよう!
〜食育と農業体験〜

記事のご紹介

2 ページ

- 平成26年産米
放射性物質全量全袋検査の実施

3 ページ

- 今号の表紙から
- がんばる農業者 あの人この人
小川保夫さん (添野町)

4 ページ

- 農業者だけの公的年金制度
老後の安心「農業者年金」

5 ページ

- 農地流動化情報
- 平成26年度
東北・北海道農業活性化フォーラム
- 農業委員会のうごき

6 ページ

- 地区だより(中部地区)
北米原産の「アピオス」
- トピックス
農作業の3つの注意
- 新任委員の紹介



▲小川小学校の総合的な学習

平成26年産米 放射性物質全量全袋検査の実施

昨年引き続き、全ての県内産米を対象に、全量全袋検査が実施されます。
基準値を超える米の流通を防ぎ、消費者に安全な米を届けることは産地の責任であり、福島県産米への信頼回復に必要不可欠です。
生産者の皆様は、制度の趣旨をご理解のうえ、必ず全ての米袋を検査してから販売、譲渡、消費することとし、産地の信頼回復にご協力ください。

検査場所		予約申込先	電話	FAX
JA いわき市	飯野倉庫	第一営農経済センター	34-3529	34-8146
	高久倉庫	第二営農経済センター	32-3012	32-3028
	カントリーエレベーター	第三営農経済センター	83-1122	83-1123
	三坂倉庫	第四営農経済センター	85-2333	85-2669
	第五営農経済センター倉庫	第五営農経済センター	62-4670	62-7647
JAいわき中部(渡辺倉庫)		営農課	56-0808	56-2688
(株)相馬屋			73-0078	73-3100
(有)米問屋			29-2462	29-2463
福島糧穀(株)			27-2828	27-2835

※予約申込書は、市農業振興課、各支所、JA各支店で配布。

《検査開始日》平成26年9月12日(金)

《検査の対象》生産した全ての米(飯米、縁故米、食用の「ふるい下米なども含む」)

※平成25年産米(未検査)の検査は各検査場に要相談

《検査の準備》各生産者に郵送されたバーコードラベルを全ての米袋に貼付。

《検査の受付》JA等を通して出荷する場合は不要。個人で販売・譲渡・消費する場合、予約申込先へ予約申込書を持参又はFAX。

《検査の実施》指定された検査日に、検査の準備を終えた米袋を搬入。

《検査料金》無料

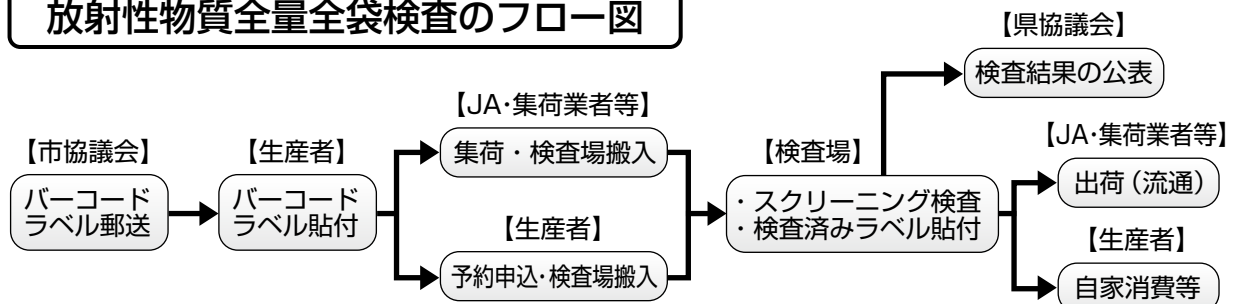
《注意点》①各生産者に郵送されたバーコードラベルを使用し、他人のものではない。余っても譲らない。不足した場合、市農業振興課に連絡。

②H24・H25年度のバーコードラベルは使用不可。

③出荷状態(30kg米袋)で検査実施。

《その他》全量全袋検査済みの県産米を使用した「精米袋」や「小分けした玄米袋」に貼付するラベルを希望する方は、「ふくしまの恵み安全対策協議会事務局(福島県環境保全農業課内)」
024-521-8446にお問い合わせください。

放射性物質全量全袋検査のフロー図



《検査等に関するお問い合わせ先》
いわき市農業振興課 22-11147

今号の表紙から

小川小学校でバケツ稲づくり

今号の表紙は、いわき市立小川小学校の6年生35名が育てているバケツ稲づくりの一幕です。

バケツ稲づくりは、JAグループが進める「みんなのよい食プロジェクト」の環境として、これからの食や農を担う子どもたちに、日本の稲作や農業に触れ、もっと身近に考えてもらいたい、そんな思いから平成元年より全国各地の小学校などで実施されています。バケツ稲とは、「バケツで育てる稲」のことで、バケツと土を用意すれば庭やベランダなど場所を選ばず、身近に田んぼがない子どもたちでもバケツの中に田んぼを作り、一粒の種もみから苗を育て、花を咲かせ、収穫し、米にして食べるまでを体験し、米作りの苦労と収穫の喜びを学ぶことが出来るようになっていきます。

子どもたちがバケツに培土と水を入れてキャーキャー言いながら素手で練る様子は、小学6年生とは思えないほどの無邪気さで、最近の子供たちが米作りに触れる機会の希少さと大切さを象徴しているようでした。

全国の小学校では、平成10年の学習指導要領の改訂により創設された総合的な学習の時間において、「生きる力」を育むため、人が生きていくための基本的な営みである食に関する教育「食育」が注目を集めるようになり、平成23年度から実施されている新学習指導要領においても、望ましい食習慣の形成などを目的に食育に関する授業が数多く実施されています。

バケツ稲づくりを通じ、子どもたちが食べ物や農業・農村に興味を持ち、将来農業に携わる子どもたちが出てくることを期待し、食育という種を播きながら、未来に繋がる農業を続けていきたいと思います。

(執筆・撮影 草野城太郎 委員)



がんばる農業者
あの人この人



おがわ やすお
▲小川 保夫さん(63歳)

今回ご紹介するのは、いわき市添野町にお住いの小川保夫さんです。33年間勤務していた会社を定年退職し、両親が営んでいた農業を引き継ぎ専業農家として歩み始めました。妻の恵子さんには、定年を迎えたのだから少しは楽をしたらと言われたそうですが、いやこれから初心に帰って頑張ろうとのこと、今年はず稲を8.4ヘクタール作付し、妻や両親の励ましと協力のもと、稲作を中心とした農業経営に取り組みまれているところです。

米価の低迷の中、いかに利益を出すかが問われている状況で、省力化やコストの削減など、いまだ手付かずの部分があり、従来通りのやり方の改善が必要不可欠である一方、農業従事者の高齢化に伴い水稲受託面積が増す事も考えられるため、これからの若い農業者が魅力を感じる意欲が出るような農業経営のモデルが求められているところです。小川さんには、行政、地域、そしてJA等との連携を取りながら、地域に根ざした農業経営を確立し、後に続く若者や定年帰農者のモデルとなるよう、今後もご活躍いただきたいと思えます。

(執筆・撮影 荒川光弘 委員)

農業者だけの公的年金制度 老後の安心「農業者年金」

農業者年金は、農業者がより安定した老後を過ごすことができるよう国民年金に上乘せする公的年金です。次の3つの要件を満たす農業者ならどなたでも加入できます。



加入要件

- 20歳以上60歳未満の方
- 国民年金第1号被保険者
(保険料免除者を除く)
- 年間60日以上農業に従事

加入者は
全国で10万8千人
(平成26年3月現在)

●農業者年金の特徴とメリット

①終身年金で80歳までの保証付き

原則、65歳から生涯にわたってもらえる公的年金です。仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れる見込みであった年金相当額が、ご遺族に給付されます。

②保険料額の自由設定・途中変更が可能

保険料は、月額2万円～6万7千円の範囲で、千円単位で自由に設定できます。途中で月額を変更することも可能です(認定農業者などには保険料の国庫補助もあります)。

③加入も脱退も自由

加入も脱退も自由です。脱退した場合、保険料は返還されませんが、加入期間に応じて将来給付される年金額に反映されます(加入期間が一カ月でも対象となる)。

④税制面での優遇措置

支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となりますので、所得税・住民税の節税につながります。

農業者年金の給付額の例

(前提条件)

昭和56年3月9日生 33歳(平成26年10月1日現在)
平成26年10月加入 保険料月額2万円(60歳になるまで納入)
※運用利回り2.07%として計算(H14~H24年度までの平均運用利回り)

(試算結果)

65歳支給開始(老齢年金の場合) 年金額(年額): 433,500円

※算定に当たっては、予定利率を1.05%としています。

※実際の年金受給額は年金裁定時まで確定せず、それまでの運用結果等により変動しますので、上記年金額を保証するものではありません。また、端数処理等によって実際の年金額は若干異なることもありますので、試算結果は、一つの目安としてください。

農地流動化情報

Vol.25

農業委員会では、耕作を目的とする農地情報の収集・提供を行っています。
売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談ください。

■売りたい

農地の所在地	地目	面積(a)
小名浜上神白字山崎 (5筆)	田	30.17
小名浜島字前屋 (1筆)	田	9.92
平下片寄字沼ノ作 (4筆)	畑	16.49
平下片寄字江ノ上 (3筆)	畑	6.12
田人町旅人字横根 (1筆)	畑	78.57

■貸したい

農地の所在地	地目	面積(a)
小川町柴原字葉ノ木田 (7筆)	田	66.61
平下平窪字下川原 (2筆)	畑	9.28
泉町滝尻字中ノ坪 (3筆)	畑	16.93
小川町柴原字桐ヶ岡 (1筆)	畑	10.92
小川町柴原字永久保 (1筆)	畑	8.50

ご覧になって、手続き等の詳細を知りたいという方は農業委員会事務局までお問い合わせください。

※今回掲載した農地以外にも売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談ください。

【お問い合わせ】

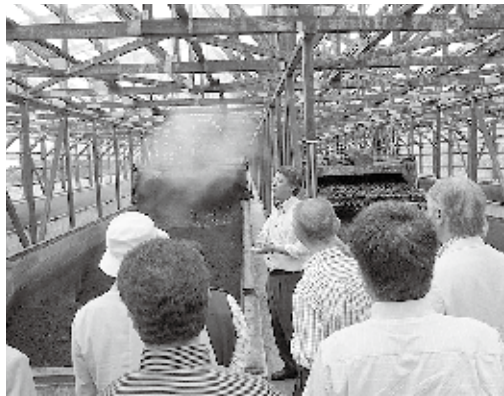
農業委員会事務局

0246 (22) 7578



農業委員会の動き

平成26年8月7日に開催されました福島県農業会議第86回臨時総会において、当市農業委員会の鈴木理会長が、福島県農業会議副会長に選出されましたことをお知らせします。



(株)岩手環境事業センター

産業廃棄物収集運搬業などのほか、し尿汚泥や学校給食、スーパーや食堂、ホテル等から出される食品残渣を発酵処理し、有機肥料の製造・販売を行っています。

《主な視察先》

(株)岩手環境事業センター (岩手県北上市)
農事組合法人下黒土アグリ (秋田県大仙市)

東北・北海道の農業委員系統組織が一堂に会する「平成26年度東北・北海道農業活性化フォーラム」が「新たな農政改革と農業委員活動の強化」をテーマとし、去る8月28日に岩手県盛岡市で開催され、農業委員会からは委員22名と事務局職員2名が参加しました。
当日は約千五百名が参加し、高崎経済大学理事長高木賢氏が講師として招かれ、「農業委員会制度・組織の改革と農業委員会の役割について」ご講演いただき、引き続き行われました事例発表を通じ、農業委員会の自発的な取り組みの重要性とその効果を再確認したところです。
フォーラム参加に併せて、循環型農業や農地集積による担い手の経営規模拡大に関する優良事例を視察し、実りの大きな視察研修となりました。

平成26年度東北・北海道農業活性化フォーラムに参加

トピックス

農作業による死亡事故 が増えています!

～農作業～ 3つの注意

1. 余裕をもって 作業しましょう

急がず、無理せずに作業が出来るように余裕ある計画を立てましょう。

2. 高齢作業者に よる事故に 注意しましょう

特に乗用型トラクターによる圃場の進入・退出、畦畔越えに注意しましょう。

3. 巻き込み事故に 注意しましょう

点検・清掃作業では、腕や足が巻き込まれないように必ずエンジンを停止しましょう。

(執筆 飯高敬一 委員)

農業委員(選任委員)が変わりました



駒木根 文男 委員

- 平成26年8月18日就任
- 選任委員(いわき中部農協推薦)
- 農政振興部会
- 小名浜大原

編集委員

荒川光弘 草野城太郎
飯高敬一 渡邊和夫 佐川良平

地区だより 《中部地区》 〔常磐〕 佐川良平委員

アメリカ原住民が戦いの前に食べたイモ「アピオス」

約25年前頃から全国的に静かなブームを迎えている健康食材がある。

芋の一種です。北米原産のマメ科・ホドイ毛属のつる性植物で、日本では「アメリカホドイモ」とも呼ばれています。

原産地の北米では、昔アメリカ原住民が戦いの前に食べていたと云われ、強精・薬用食として利用されてきました。日本には、明治中期頃にアメリカから観賞用として渡来し、鉢づくりや庭の垣根用に植えられていましたが、大きく流行することもなく廃れ、



長い間忘れ去られていました。それが健康食品などがもてはやされる時代を迎え、脚光を浴びるようになったのは、抜群の栄養価にあります。ジャガイモと比較して、カルシウムが30倍、鉄分4倍、繊維質5倍、タンパク質6倍とされる栄養価のほか、アト

収穫は秋ごろで、長い地下茎が所々親指大の大きさに肥大し、ネックレス状に連なったものを収穫します。日本では品種改良されたものにはジャガイモ大に生長するものもあり、国内では青森県の一部で産地化が進められています。特徴としては、病害や冷害にも強く、肥料もそれほど必



要なく育つため、誰でも容易に栽培でき、サツマイモと里芋をミックスしたような味と なっています。観賞用として、また健康のための滋養芋として、関心のある方は栽培されてみてはいかがでしょうか。(執筆・撮影 佐川良平委員)

編集後記

本号が読者の皆様のお手元に届く頃には、丁度稲刈りの最中かと思えます。収穫期を迎えて気になるのは米の価格です。一般的に、商品価格には生産コストが転嫁されますが、米の価格には生産コストの増加分が反映されにくいのが実情です。

在庫過剰や消費低迷が原因とも言われていますが、生産者の立場からすれば、生産資材類が年々値上がりしている現状で、販売価格が低迷するばかりという現実の前には、離農者の増加を食い止めることは困難であると言わざるをえません。

昨年、農業分野の規制改革においては、様々な改革が進められようとしています。まずはこのような現場の声を真摯に受け止め、農業を取り巻く諸課題の解決に向けて取り組みたいと思います。(執筆 佐川良平 委員)